

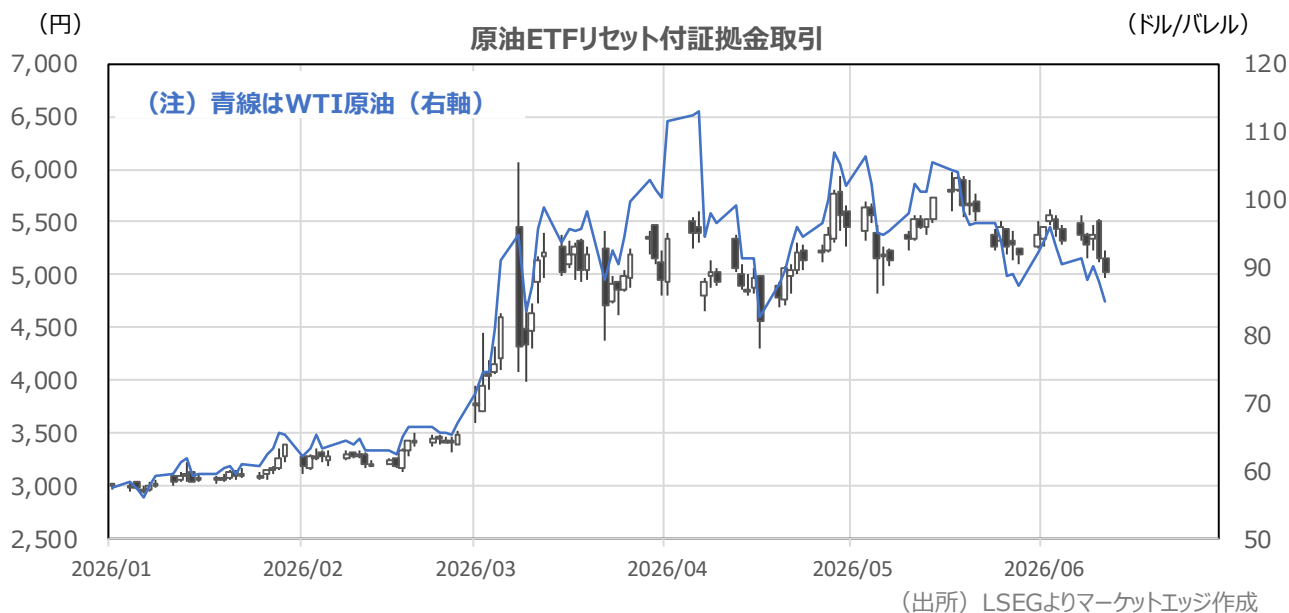
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/06/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン和平期待で反落、約2カ月ぶりの安値

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台中盤まで下落する展開となった。週前半はイスラエルとイランの間で攻撃の応酬が行われたことが警戒され、90ドル台前半で底堅く推移した。米国とイランの和平交渉への影響も警戒され、改めて供給リスクを織り込む動きが優勢になった。米国とイランとの間でも攻撃の応酬が行われ、トランプ米大統領は6月11日にイランに対する大規模攻撃に踏み切る可能性があるかと警告した。しかし、その後は一転して米国とイランの和平合意への期待を織り込む動きが優勢になり、4月17日以来の安値を更新した。

米国とイランの和平合意期待が急速に高まった。トランプ米大統領は6月11日、イランに対する攻撃計画の取りやめを発表すると同時に、和平合意の署名日時と場所を近く発表すると表明した。イランのアラグチ外相は、「これまでになく(合意の)成立に近づいている」と表明した。仲介役を務めるパキスタンのシャリフ首相は、最終的な合意文書がまとまり、最終調整に入っていることを明らかにした。

米エネルギー情報局(EIA)発表の米石油在庫(6月5日時点)は、原油が前週比723万バレル減、ガソリンが19万バレル増、石油精製品が20万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレーム)をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イラン和平合意の織り込みだと軟調、80ドル割れも

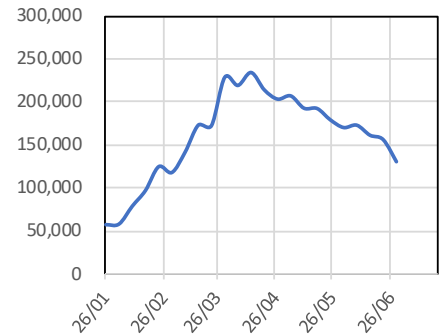
イラン情勢に一喜一憂する不安定な地合が続いているが、米国とイランの和平合意への期待が高まっている。このまま和平合意が成立すれば、ホルムズ海峡の封鎖解除も実現し、供給環境の改善期待が原油相場を押し下げる展開になろう。6月12日時点では和平合意が実現するかは不透明感も残されているが、ホルムズ海峡のタンカーの通航が再開されると、一気に80ドル割れに向かう可能性もある。このままイラン和平合意が成立するのか、成立後もそれを維持できるのかが、当面の原油相場の焦点になる。

イラン和平合意が実現しても、原油需給が直ちに安定化するわけではない。これまでの供給不足で発生した在庫の取り崩しを穴埋めするためには多くの時間が求められる。このためイラン戦争前の状態に戻るわけではないが、それでも和平合意が実現すれば、急騰リスクの後退が原油安を促そう。

一方、改めてイスラエルとレバノンの軍事衝突が報告されるなど、和平合意の成立・維持を阻む動きがみられると、90ドル台回復を試す可能性は残されている。安定的な値下がりを促すためには、イスラエルやレバノンも含めた周辺国も和平合意で足並みをそろえることが求められる。和平合意に対する期待感が著しく高まっているため、その期待が裏切られた際には、急反発するリスクがある。

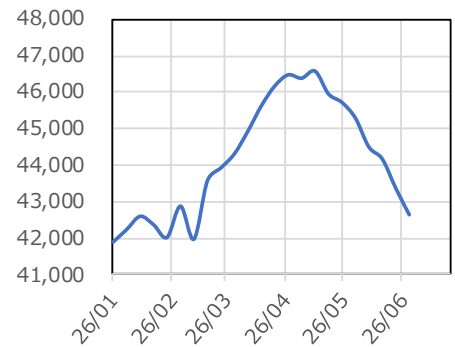
6月17日に国際エネルギー機関（IEA）月報が発表される。需要見通しをさらに引き下げる動きがみられると、上値を圧迫されやすくなる。一方、世界の石油在庫の急速な減少が報告されると、買いが膨らみやすくなる。イラン和平合意の有無の方が重視される見通しだが、イベントリスクとして注意が必要だ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



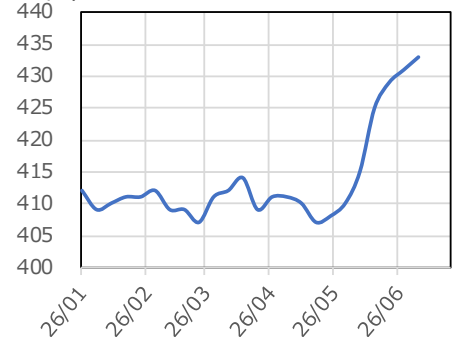
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

